

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当院における微小変化型ネフローゼ症候群患者の経過の調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 村上陽一（腎臓内科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後から2022年3月まで

目的：本研究の目的は、微小変化型ネフローゼの患者様における寛解や再発の予測因子、ならびに合併症等の危険因子を明らかにすることで、適切な治療選択の一助とすることである。

方法：年齢や既往歴等の患者様の背景や、当院での検査結果や治療方法が、合併症の頻度或いは寛解までの期間などの経過とどのように関連したかを後方視的に解析する。

■ 対象となる患者さん

2006年4月から2021年9月までに当院で微小変化型ネフローゼ症候群の診断を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：カルテ番号、性別、生年月日、病歴、既往歴、病理検査結果、治療歴、検査結果、合併症等の発生状況、寛解日、再発日、など

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

腎臓内科 村上 陽一

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971